

令和5年

駒ヶ根市教育委員会 第7回定例会

会 議 録

駒ヶ根市教育委員会

令和5年駒ヶ根市教育委員会 第7回定例会議事日程

告示年月日 令和5年6月19日(月曜日)

開催年月日 令和5年6月28日(水曜日)

開催場所 駒ヶ根市役所 本庁舎2階 大会議室

開会時刻 午後1時58分

閉会時刻 午後2時46分

- 1 開会
- 2 教育長報告
- 3 事業報告及び事業計画
 - ・次回定例会教育委員会 7月28日(金) 14時30分～ 本庁舎2階 大会議室
 - ・総合教育会議 7月28日(金) 16時～ 本庁舎2階 大会議室
- 4 審議案件
なし
- 5 協議事項
なし
- 6 報告事項
 - (1) 保育料の収納状況について
 - (2) 学校給食費収納状況について
 - (3) 保育・幼児教育ビジョンの具現化について
 - (4) 行事共催等承認申請の専決処分について
- 7 その他
 - (1) 市教職員夏期研修会について
 - (2) 上伊那市町村教育委員会連絡協議会総会並びに研修会について

7月3日(月) 13時00分～ 飯島町
- 8 閉会

出席者

教 育 長	本 多 俊 夫
教育長職務代理者	福 澤 惣 一
委 員	唐 澤 浩
委 員	木 下 健 一
委 員	山 田 恵 美

委員以外で会議に出席した者

教育次長	北 澤 英 二
子ども課長	赤 羽 知 道
社会教育課長	宮 下 る み
学校教育係長	水 野 毅
幼児教育係長	大 野 秀 悟
給食センター所長	吉 澤 美和子
教育総務係長	倉 田 さおり
教育総務係	竹 田 正 樹

傍聴：1人（うち報道機関1人：長野日報社）

会議のてんまつ

議事日程記載のとおり

午後1時58分 開会

1 開会

○本多教育長 改めまして、こんにちは。(一同「こんにちは」)

少し早いですが、ただいまから令和5年駒ヶ根市教育委員会第7回定例会を始めたいと思います。

よろしく申し上げます。

2 教育長報告

○本多教育長 昨日もちよつとある会合で話したのですが、沖縄は梅雨明け宣言が出ました。こちらのほうも間もなくだとは思いますが、夕方になれば何か降ってきそうな気配も少しあるのではないかなと、そんなふうに思います。

先ほどもちよつとお話をしましたけれども、先週は主幹の訪問ということで、今週の月曜日まで本当にお世話になりました。ありがとうございます。後でまたちよつと触れたいと思えますけれども、お忙しい中、時間を割いていただきまして、感謝であります。

「紫陽花や 昨日の誠 今日嘘」

アジサイは色が移りやすいということで大変有名だということですが、青くきれいだなと思って咲いていたのが枯れる間際になると赤に変身するんですね。あれは後品種というのですか、原種はガクアジサイといって、山のほうにあるのが元で、これが改良されてこういうアジサイになっているというようなことですが、ああそんな時期なのだと思うわけでありまして。それがちょうど梅雨と重なるというところで妙だなというふうに思います。

初めに2ページのほうを先にお話したいのですが、「ちよつと立ち止まって」というところです。

先日、赤穂小学校の校長と話をする機会がありまして、1年生が十二天の森へ遠足に行つたと、それで、校長先生は正直不安だつたと言っていました。

こちらが初めての校長先生なので森の様子が分からないのしょうけれども、学年の先生方はそれじゃあグループごとに好きなように遊んでいいよと言って放りだしたので、いやいや、これはどうなるのだと思つたと、そしたら案の定、〇〇君がいなくなつちやつたとか、誰々さんがどこかへ行つちやつたよとかいうような情報がたくさん校長の耳に届いたようです。

ところが、集合時間にはちゃんとみんな戻ってきたそうであります。しかも、楽しくて仕方がなかつたということを経理に話したということをお聞きしました。

さぞかし森の中では学校の枠の中じゃあ見られないような活発な動きが、また活動が展開されたのではないかなというふうに思うところであります。

十二天の森の近くの南幼稚園、福岡保育園は、多いところになると年間で30回くらい遊びに行つているというくらい利用していますので、その子どもたちが1年生の中にいたと思います。森のことなら俺は知っているよというような子がかなりいたのではないかなとも思いますが、勇気を持って放り出してくれた担任に感謝をしたいなというふうに思います。

こういう状況の中から子どもたちは少しずつ内から育っていくのではないのかなという

ふうに思います。大人は苦い甘いを経験してきているから、ああ困ったとか心配だなというふうに思うのですけれども、子どもはそれが分からないわけで——本当に命が危険なときにはこんなばかなことはしませんけれども、やっぱりこういうふう自由にさせるということがいかに大事なことかなということ改めてかみしめたものであります。

ちょっと戻っていただきまして、ある本を読んでおりましたら対談が載っておりました。中村学園女子高等学校——剣道部が全国優勝を21回しているという高校の剣道部の岩城監督と、箕面自由学園高等学校という高校はチアリーディングの全国大会で38回優勝しているという、もう化け物のような、ものすごい監督の対談です。チアリーダーのほうは野田さんという女性です。

2行目です。野田さんの言うところによれば、

練習で何度も何度も失敗している子はその分上達するし、心が強くなる。逆に、練習で失敗しないように守りに入っている子は、本番にこれまで自分を擁護してきたことが頭をよぎって、ミスをしてしまう

なるほどなあというふうに思います。

毎日これをやると決めたら、本当に小さなことでもいいので、ごみ拾いでも何でも、ちょっとしたところの掃除でも、毎日やるとぶれない自信につながっていくということも言っております。

また、もう一人の岩城監督も「うちの剣道部は単なる日本一ではなく、正々堂々の日本一を目指している。」と書いています。

それぞれの監督が、ねらい・目的を明確に持っているということです。

さらにすごいのは、毎年優勝していても、新しく1年生が入ってくるわけで、そうするとまたゼロからやり直すのだそうです。優勝しているからといって、そのつけとか勢いで行けばいいなというものではなくて、ゼロのような状況で剣道部に入ってきたりチアリーディングをやったりする子が出てくるのだけれども、もう一度基本に戻ってゼロから積み上げて大会に臨むということが書かれておりました。

すごい監督とか、そういう人たちは、売名行為ではなく、また物すごいことをやっているよというのではなくて、本当に地味なことを継続してコツコツと続けているのだなということ改めて知ったところあります。

学校のほうにも参考になるのではないかなというような思いで、校長会でもまた紹介したいと思うところあります。

次のページには「まど・みちお」さんのことをちょっと書いてありますが、「まど・みちお」といいますと、「やぎさんゆうびん」とか「ふしぎなポケット」とか、「ポケットのなかには…。」(歌う)という、あれです。そんなようなことで本当に子どもたちに親しまれる曲をいっぱい作った人です。

四角で囲った詩の中にありますが、その人でも「私とて時には姿の見えない声の主を空に遠く見つめつづけることがある」と、いろんな思いで自分だってやっているのだということを吐露している、そんなようなこともちょっと載せておきましたので、またお時間のあるときにお読みいただければと思います。

今日は、またお世話になります。よろしく申し上げます。

あ、言い忘れました。主幹訪問をしていただいて本当にありがとうございました。

教育委員さんたちがそれぞれの目で、4人ともに4色の色で子どもたちを見ていただいて、本

当にあらゆる角度から御指摘、疑問等を投げかけていただいて、学校にどういう気持ちでやっているのだということ等々もお聞きしたりして、校長、また教頭も本当にありがたかったのではないかなというふうに思います。

あんな形で様々な角度から見ていただいて、現状のままではなくて、いいものはもちろん広げていくのだけれども、立ち止まってもう一度教育を見詰めてほしいなという思いが本当にひしひしと伝わったのではないかなというふうに思います。本当にありがとうございました。

3 事業報告及び事業計画

○本多教育長 それでは、続きまして事業報告及び事業計画のほうに移ります。

お願いいたします。

〔北澤教育次長 事業報告及び事業計画資料により説明〕

○本多教育長 事業報告並びに事業計画につきまして何か御意見、御質問等ございますか。

○福澤教育長職務代理者 7月26日は上伊那の協議会でしたか。

○北澤教育次長 はい。そうです。

○福澤教育長職務代理者 場所が市役所になっているけれども、公民館じゃなくて市役所ですか。

○北澤教育次長 市役所です。

○福澤教育長職務代理者 25日の定例教委は28日にくっつけますか。

○北澤教育次長 そうですね。できればですけども、2時半頃から……。

多分、去年の定例教委の様子だと、補正予算と総合教育会議の打合せをしているのですけれども、補正は今回ちょっと分からないですけども、あとはそのくらいなので、もし2時半頃からやって、総合教育会議の打合せをして、総合教育会議は4時からで、4時からのほうは短くしたので、もし可能であれば……。

何か都合がつかないようであればですが……。

○北澤教育次長 それでは2時半でよろしいですか。25日の定例教委は行わず、28日の2時半からでよろしくをお願いします。

○本多教育長 それでは、次第のところの3番、定例教育委員会7月25日を7月28日金曜日に、午後2時を2時30分に変更してください。1日で、1回出てきていただくことで何とかしたいということでありませう。

場所はここになります。

ほかにはよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

4 審議案件

なし

5 協議事項

なし

6 報告事項

(1) 保育料の収納状況について

○本多教育長 それでは、4番5番の審議と協議がたまたま今回はございませんので、報告事項のほうに移ります。

前はちょっとここでの検討がありましたけれども、報告事項ですので、ここで検討することがないように、質問とか、そのくらいにして、さらっと聞く程度でお願いしたいと思います。

1つ目、保育料の収納状況について、お願いします。

○大野幼児教育係長 そうしましたら5ページでございますが、令和4年度の保育料徴収実績ということで御説明させていただけたらと思いますので、よろしくお願ひいたします。

上の段からでございますが、まず保育料でございます。

保育所運営費負担金ということで、こちらは公立分でございます。こちらにつきましては、公立保育園の保育料、また副食費の状況でございます。調定額につきましては3,946万1,150円ということで、収入額につきましては3,945万8,150円ということで、徴収率につきましては99.99%ということでありました。

続きまして保育所運営費負担金ということで、こちらは私立分でございます。私立分につきましては、副食費につきましては各園で徴収しておりますので、保育料のみということで、調定額1,011万3,680円に対しまして収入につきましては1,011万3,680円ということで、徴収率は100%でございました。

長時間保育料でございますけれども、こちらは調定額261万6,220円に対して259万5,820円ということで99.22%ということでございます。

それで、保育園の過年度分――滞納繰越分ということでございます。調定額1,860万660円ということで、収入額につきましては13万5,560円ということです。

あとは不能欠損額ということでそちらに記載がありますけれども、こちらにつきましては、以前より課題となっております過去の古い滞納分につきまして不納欠損で正規の手続を経まして処理ができたということで、こちらが113万1,270円ということで記載してあります。

続きまして幼稚園分でございます。

幼稚園分につきましては、それぞれそちらに記載のとおりでございますが、徴収率はそれぞれ100%であったという結果でございます。

一番下になりますけれども、保育園、幼稚園を合わせますと、現年度分につきましては99.96%、過年度分につきましては5.51%ということで、トータルで見ますと95.83%であったという結果でございました。

これを受けまして、今年度は引き続き過年度分につきまして徴収に努めるとともに、5年度分は徴収率100%というか、収入未済分がなくなるように努めていきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

○本多教育長 実績につきまして説明がありましたけれども……。特に質問、御意見等ございませうか。

○唐澤委員 過年度分の不納欠損が113万1,000円ぐらい、これはもう全部クリアになったということなんですね。来年からはゼロということですね。

○大野幼児教育係長 そうですね。この分が滞納繰越分から減ったというか、なくなったというか……残りが59万3,830円で……

○唐澤委員 あ、これが収入未済額ですか。

○大野幼児教育係長 ええ。その部分がまだ残っているという状態でございます。

○唐澤委員 分かりました。

○本多教育長 よろしいですか。

○唐澤委員 はい。いいです。

○本多教育長 ありがとうございます。

それでは保育料収納状況のほうは終わります。

(2) 学校給食費収納状況について

○本多教育長 2つ目、学校給食費収納状況について、お願いします。

○吉澤学校給食センター所長 お願いします。

資料の6ページをお願いします。

令和4年度学校給食費収納状況です。

一番上のブロックが赤穂、それから真ん中が竜東、一番下が両センターの合計という形になっております。

まず赤穂ですけれども、一番上が現年度分になります。

令和4年度ですけれども、滞納額がゼロということで、収納率は100%でございました。

それから、令和4年度の過年度分につきましては、収納金額が41万円余で、滞納として残っている金額が380万円余という形でございます。滞納者数につきましては15名です。

現年と過年度分を合わせまして、収納金額が1億2,500万円余に対しまして、過年度分の滞納額ということで380万円余という形でございます。滞納者数につきましては現年、過年を合わせて15名でございます。

続いて竜東ですけれども、現年度分の令和4年度につきましては滞納額が2万2,523円ということで、1名の方が滞納という形でございます。

それから、過年度分ですけれども、2万5,000円の収納がございまして、未納額——滞納額が19万1,000円余、滞納者数につきましては1名でございます。

現年度、過年度の合計でございますが、収納金額が2,600万円余、それから滞納額が21万3,000円余で、滞納者数が2名ということでございます。

竜東の令和4年度分の2万2,000円余の滞納額でございますが、3月までには入れていただけなかったのですが、4月に入って納付いただいておりますので、現時点では令和4年度の未納はございません。滞納者数につきましては1名という形でございます。

現年度分につきましては引き続き未納が起こってこないように対応をしまいたいというところ、それから滞納分——過年度分につきましては、分納制約等をいただいている方につきましては連絡等を取りながら収納のほうを促してまいりたいと思います。

以上です。

○本多教育長 学校給食費の収納状況について説明をいただきました。

質問、御意見等ございますか。

〔発言者なし〕

○本多教育長 3月31日の締めなので、4月になってから納入したということで、両方とも100%ということですね。

○吉澤学校給食センター所長 現時点ではそうですね。はい。

○本多教育長 よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○本多教育長 ありがとうございます。

（3）保育・幼児教育ビジョンの具現化について

○本多教育長 続きまして保育・幼児教育ビジョンの具現化について、お願いします。

○北澤教育次長 資料は駒ヶ根市保育・幼児教育ビジョンの部分、秋田先生とか、そういった部分もあって前段の部分は出来上がったのでお示ししたという形で、その中の遊び込みとかを含めて、子育て応援のアプリとか、事務局も含めて、そういう部分を教育長から説明していただければ……。

○本多教育長 本年度は子育て全力応援の3年間の最後の年ということでありましてけれども、それだけではなくて、前から幼保の時代の遊び込みを大事に考えてきておるんですけれども、前からも御説明しておりますように、十二天の森は市の森でありますので、活用やいろいろしていこうじゃないかということで、今年度はバス等の予算化もしていただきました。

先ほども申しましたように十二天の森も少し利用がされてきておるわけですが、これは、強いて言えば、外へ出ていくときに自然をうんと利用して——小屋って言っちゃいけないですが、どうしても園の中にいるだけというようなことがあるのですが、そんな中でも、外遊び等々、本当に自由に遊ぶことはできないかということで、本年度は築山を有効活用しようじゃないかということでスタートしております。

私も課長さんと13園、全部を回ったのですが、6園にはもう既に築山がございます。

築山って、要するにこんもりとした園庭やなんかにある小山のことです。一番分かりやすいのは、福岡保育園が分かりやすいかなというふうに思います。1回でもそばを通っていただければ一目で分かると思います。

残りのところは全くございませんでした。それで、アンケート等も取りましたところ、実際に築山のある園なのだけれども、もう土がちょっと少なくなってきたから、そこにもっと土が欲しいというようなところもあったり、ぜひとも新たに作りたいというようなところがあったりして、動き出しが4つほどあるようであります。ほかのところはちょっと様子見というようなところがあるかと思えます。

これは否定されるものじゃなくて、子どものためにはもう確実にとても有効だということは何もいろいろなところで証明されてきつつあります。

先日も何かニュースで外遊びのことで苦手な遊びというようなことが新聞の記事にありましたけれども、少子化の中で子どもたちが本当にたくましく育てもらうためには、箱の中に収めてけがないようにというオブラートの保育やなんかをやっていても駄目で、それが単独で幼保だけで終わってしまったらますます駄目で、幼保教育ビジョンは小中のほうへつながっていくような計画を考えております。

既に以前に1回お配りしたので見ていただいているとは思いますが。

それで、塩澤と申しますが、幼児教育アドバイザーが今本当に毎日いろんな園に行っていて、もちろん苦情も聞いたりして、こんなふうになってくれるとありがたいというようなことも全て聞き取ってもらっております。幼保と小中のかけ橋のアドバイザーも兼ねていただいておりますので、遊びを中心とした幼保教育をやりながら、小中へは総合的な学習の時間や日常的な遊びのほうにつながっていけばいいなというような部分が具体的にあります。

いずれにしても、内から育つたくましい子ども、それでひたむきな子でたくましい子どもたちに育ってほしいなという願いで現在動いているということをお承知おきいただければと思います。

またいろんなところで、園なんかに行ったら、おい、築山を見せてくれやと言ってもらったりしていいと思います。

あんな狭い園の中だけで、塀の中だけで育つこと自体が逆に不自然だと私なんかは思っちゃうわけですが、自由に遊べる空間を何とか保障してやりたいなと思っているところであります。

現状で大野さんから何かつけ足しがあれば……

○大野幼児教育係長 特には……。

○本多教育長 秋田先生のほうのものはついておりますかね。非常にありがたいアドバイス、また監修をしていただきまして、それぞれ着実に子どもたちのために環境づくりをしたいなというふうに思っているところであります。

特になければ次に進みますが、よろしいでしょうか。

〔「いいです」と呼ぶ者あり〕

○本多教育長 またゆっくり目を通していただければというふうに思います。

(4) 行事共催等承認申請の専決処分について

○本多教育長 4つ目、行事共催等承認申請の専決処分について、お願いします。

○竹田教育総務係 7ページを御覧ください。

今月は12件の申請がありました。

うち共催に関するものが3つあります。

5-041は佐野さんのオペラコンサートです。

それから5-042は登戸研究所の発表です。

それから5-045は県の青少年補導活動推進大会の駒ヶ根大会ということです。

それから新規のほうですが、5-046です。こちらは夏休みの短期水泳教室で、毎年行っているのですが、今回から後援申請ということです。

I S CさんとA F A Sさんが共同で出しております。昨年も600人が利用しているということです。駒ヶ根市の小学生の数が1,500人くらいですから、相当の数が参加しているということが分かります。

実は、今年、赤小以外は全て夏休みのプール開放がありません。理由は、熱中症指数が高くてなかなかプールができないということ、コロナがあったということ、またP T Aの負担等が大きくなってきたということです。

水泳のほうですが、実は昔と違って、どの学校も水泳の時間は7月末までで10時間くらいし

かないです。それで、プールは終わってしまいますので、それを補充するという意味で市内にある施設を生かしながら子どもたちの教育に生かそうということで、教育的に価値があるものかなと思います。プロのインストラクターの指導で泳げるようにしてもらおうという見方で考えて、認める方向で考えております。

以上です。

○本多教育長 共催3件、後援9件、計12件です。――よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○本多教育長 水泳事情が最近また変わってきているようであります。先日も新聞記事で伊那東部中のプールはもう完全に底がめくれ上がり漏水してしまったということが書いてありました。じゃあ、あれだけの人数をどうするのだと言ったら、市営プールの流水を止めて、そこで授業をしてもらおうということだそうであります。

駒ヶ根市の場合は、そういうプールもありません。この夏もプール開放する学校は少ないようですし、泳ぐ機会も少なくなろうかと思えます。

競泳とか、そういうような狙いからはだんだん変わってきているというようなことはあるようではありますが、競泳に臨みたい子はスイミングクラブ等へ行くみたいな傾向が強くなってきているということです。

長野県はどんな小さな田舎の学校でもでかい学校でもプールがあるということで、昔から全国的にも有名でありました。

ただし、海のない県だからこそ子どもにはという思いは分かるのですが、先生方があの短期の僅かな間にがんが泳がせるので、水泳の嫌いな子がたくさん出たという実態はございます。こんなに競泳みたいな感じでやったのは珍しいのではないかと思いますけれども、大分変わってきているということではないかなと思います。

よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○本多教育長 ありがとうございます。

以上で報告事項は終了いたします。

7 その他

(1) 市教職員夏期研修会について

○本多教育長 その他に移ります。

1つ目、市の教職員夏期研修会について、お願いします。

○北澤教育次長 8ページ9ページですが、駒ヶ根市の指定研修を教職員の先生方に実施しておりますけれども、昨年は赤穂公民館の講堂で後藤先生にお願いして講演会をしていただきました。教育委員さんにも御出席いただきまして、ありがとうございました。

今年は8月2日の9時半～1時半、昼食を含むということで、場所は今お話のありました十二天の森と、JICAの駒ヶ根訓練所が展示物等をリニューアルしたということで、そういったものを見ていただくということで、参加者は市内の小中学校職員が中心で、教育委員会の職員にも出ていただくような感じになります。

日程については、十二天の森でグループを編成してグループ活動をやるということで、十二天

の森で遊ぼうということでテーマを決めて行うということです。

それで、終わった後の、教育長さんの講話のほうは10時45分からで、11時にJICA訓練所のほうへ移動して、その後、施設見学等を短時間でやって、研修生のプチ体験談などを分かれて行い、1時から食堂の食事体験、食べた後は1時半に解散ということです。

今年は赤穂中学校さんが当番で検討していただいているということでもあります。

雨天の場合は赤中、赤小の会場に変更です。

また教育委員さんにもぜひ参加いただければと思いますので、よろしくお願いします。

○本多教育長 例年にない研修でありますけれども、簡単に言うと、十二天の森を使って子どもの目線になってみようということになっているということです。子どものすることを考えてみようとか、子どもになって森を見つめてみよう、遊び場探しのようなことです。

私の予想ですが、多分、中には、こんなところへ遊びに行くなんて、おい、貴重な夏休みなのだから俺は行きたくないという先生がいるかもしれません。

でも、そういう先生に限って、1から10まで全部やりくりしてくれない研修は価値がないと思っている先生が意外と多いです。研修会だからイロハは全部主催するほうが準備すべきだというような意識でいるということだと、これは昔ながらの先生だなというふうに思います。

理屈じゃなくて、あの場へ行ってみたら困ってしまって何をしたらいいか分からない先生も出てくるかもしれません。それもまたよからずというふうに思っております。

赤中の先生が担当でありまして、この後、やるだけで、じゃあさようならというよりも、JICAのほうでも、公開、オープンにしているので、ぜひもう少しJICAを知ってほしい、せっかく地元にあるのに知らない方も多いのだろうということで、知ってもらうための工夫にかなり力を入れていますから、ちょうどいい機会だということです。

JICAの食事、何になりますか、ネパールの食事になるかどうかは分かりませんが、これは平日ですので、JICAにお勤めの方たちの邪魔にならない時間帯の御飯時間になるということは聞いております。多少時間をずらすというようなことを言っていたような気がしないでもないけれども……

○北澤教育次長 これは、また最終的に決まるのですよね。これがもう決定ですか。

○竹田教育総務係 これが時間の新しいほうだそうです。

○本多教育長 じゃあ向こうと調整してもらったのかな。

○竹田教育総務係 最初は9時から12時半と書いてありました。これが9時半から13時半に変更されていました。

○北澤教育次長 校長会を5日に行うので、そこで最終決定をするので、もしかしたらちょっとずれるかもしれませんが、一応このような予定だと思います。

○本多教育長 一応の予定がこういう感じだということで、また変更し次第お知らせしたいと思います。

唐澤さん、そういうところへ大人でも入るとちょっと困っちゃったりしますね。

○唐澤委員 ああ、大人でも入るのが嫌だって言う人がいます。

○本多教育長 でも、平地林でこんなものが残っているというのは本当に貴重で、いつも話すのですが、南箕輪の大芝高原もそうで、上伊那の中に2つあるというんですね。あそこここなのですけども、大芝は、あまりにもちょっと、何ていうのですか、公園というよりも、商売っ気

も出たりして、いろんな……。何ていいたらいいのか、昔は何度も行きましたけれども、やっぱり自然が残っている感じじゃないので、かなり手を加えたというか、かなり木を切っちゃいました。

コバンザメじゃなくて、何ザメでしたっけ、キャビアが取れるサメ……（「チョウザメ」と呼ぶ者あり）この間はチョウザメをまた放したと新聞に出ていました。それで、放すだけじゃあ興味を示してくれないだろうと言って、チョウザメを料理して、チョウザメの身もうまいのですよと言って一般の人たちも食べているのですけれども、十二天ではそういうことはないです。（笑声）

本当に自然のいいところが残っていますので、しかも駒ヶ根の中にそれがあるというのを知らない人がいる。

だから、何だこういうところがいいのかと思ったら、いや、中沢だ、東伊那だ、こっちの菅の台のほうだって、ちょっとだけ入れればいいところが幾らでもあるので――止め山に入っちゃ困るけれども、幾らでもあるというところに目が広がっていけばいいなというふうに考えております。

長くなりましたが、そんなところでよろしく願いいたします。

（２）上伊那市町村教育委員会連絡協議会総会並びに研修会について

○本多教育長 続きまして上伊那市町村教育委員会連絡協議会総会並びに研修会について、お願いします。

○北澤教育次長 10ページです。一番裏ですが、7月3日、上伊那市町村教委連絡協議会総会、今年は飯島町が当番で行われるということであります。

最初に内堀醸造アルプス工場を見るということで、集合が12時40分～12時50分にアルプス工場であります。

その後、14時50分に飯島町文化館小ホールに移って総会等を実施します。

次期開催市町村は伊那市さんだそうです。

あと、研修については七久保小学校の後藤奈穂美先生が「地域と共に学ぶ子どもたち」という題で発表するということです。

その後、情報交換会が同会館の中ホールで、お一人4,000円で、参加いただける委員さん、教育長さんを含めまして、当日全員の方からいただきますので、受付で渡してということになると思いますので、よろしく願いします。

当日は12時半に集合、出発くらいで駐車場へ集まっていればということで準備をしていきますので、よろしく願いします。

直接行かれる方もいらっしゃいますか。大丈夫でしょうか。

○本多教育長 それでは、予定した内容は以上であります。全体を通して何かございますか。
〔発言者なし〕

8 閉会

○本多教育長 特になければ、以上で令和5年駒ヶ根市教育委員会第7回定例会を閉会といたします。

お疲れさまでした。

午後2時46分 閉会

駒ヶ根市教育委員会会議規則第25条の規定によりここに署名する。

令和 年 月 日

駒ヶ根市教育委員会

教 育 長

教育長職務代理者

委 員

委 員

委 員
